

アグリカレッジ福島

福島県農業総合センター農業短期大学校

令和6年度 農業研修

令和6年4月から7月までの農業研修の様子をまとめました！

就農研修(初級)春コース

農業に興味関心があり、就農を検討している方等を対象とした研修会を全5回にわたり、開催しました。このコースはうね立てからは種・定植作業、収穫作業までの一連の作業が体験でき、これらの実習に加え、各回座学形式の講義も実施しました。

農業の楽しさだけでなく、厳しさ・難しさも伝えましたが、アンケートでは「大変勉強になった」「畑があるから見よう見まねでやっていたが、経営を考えると明確なビジョンを立てないと先に進めないことがわかった」「次は就農研修(中級)や長期就農研修に挑戦したい」などの声が聞かれました。



マルチ張り



農作業安全



講話(講師 鈴木光一先生)



スイートコーンの収穫

就農研修(中級)

新規就農（親元・雇用・独立自営）された方、これから新規就農を目指す方などを対象に研修を実施し、栽培技術等の専門知識の習得を目指すことを目的に、標記研修を開催しました。

研修期間は5月から8月までの間に必修科目（農業経営、土壌肥料、農業生産工程管理（GAP）、農業機械、鳥獣害対策）計10日、選択科目（水稻、野菜、果樹、花き、畜産、有機農業）各4日を開催し、15名が受講しました。

このコースは座学形式による講義がメインですが、各専門の職員が栽培・飼養管理のポイントをわかりやすく説明するため、校内のほ場（畜産は牛舎、有機農業は現地ほ場）を案内しながら研修を実施しました。



選択科目：水稻



選択科目：野菜



選択科目：果樹



選択科目：花き



選択科目：畜産



選択科目：有機農業

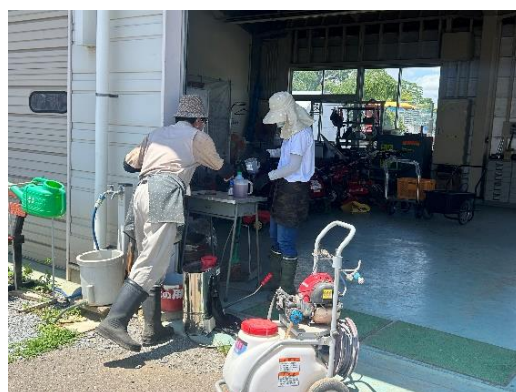
長期就農研修

長期就農研修とは、農業を始めたい！と思った方が、県内で円滑にスタート（就農）できるよう、本校の施設等を利用して約1年間、栽培（飼養）技術等を主体的に学ぶ研修です。

本校での研修の特徴は、研修品目が野菜・花の場合、本校のハウスにて自由に栽培管理ができることです。今年度の研修生6名は、様々な（小さな）失敗を通じた経験や自らのアイデア（工夫）をとおし、次年度の円滑な就農に向けた準備を行っています。



開講式（各農林事務所と打合せ）



農薬の調製の仕方を教える様子



就農研修（初級）受講者との交流



就農研修（中級）受講者との交流



毎月行っている研修状況報告会

長期就農研修生の研修風景は、
毎月1回更新しています！
こちらもぜひご覧ください！

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37207a/tyoukisyunou19.html>

農産加工研修

農産加工研修 基礎 春コース

農産加工初心者の方を対象に、加工の基礎を学ぶ全4回の研修を開催しました。今後農産加工へ取り組みたいと考えている方から既に加工品を販売している方まで幅広く14名が受講しました。

「営業許可と食品表示」では、HACCPに関する講義や栄養成分表示作成の演習、「殺菌と包装」では、食品の殺菌方法と農産物6次化に関する補助事業について、研修を行いました。「瓶詰め・袋詰め食品」では、矢吹町産のイチゴを用いて、実験用の瓶を使って殺菌時間や温度、糖度やpHを測定しながらイチゴジャムの瓶詰め実習を行いました。

「事例紹介」では、三春町のアグリ工房ひらく代表の大見啓子氏、福島市の株式会社フルーツのいとう園代表の伊藤隆徳氏を講師に迎え、加工所設立から加工品販売までの経緯を紹介していただきました。加工所運営の講義は、ユイネクスト株式会社代表の田村俊和氏を講師に迎え、加工事業の準備度セルフチェックから会計の基礎として損益計算書の作成演習を行いました。



栄養成分表示の作成演習



6次化に関する補助事業の紹介
ジャム加工



損益計算書の作成演習

技術コース【瓶詰め・袋詰め食品】

本コースは農産物加工販売者と販売予定者を対象に、容器包装食品の加工技術の習得を目的に今年度新設され、抽選で選ばれた16名が受講しました。

本校職員が講師を務め、真空包装と真空調理についての講義の後、班に分かれて実習を行いました。ニンジンとパプリカを用いてカラフルな真空袋詰めピクルスを作りました。受講生は加熱殺菌や急速冷却の重要性について学んでいました。



真空包装に関する講義



ピクルスの加工①（野菜の下ごしらえ）



ピクルスの加工②（加熱殺菌）



ピクルスの加工③（袋詰め）

今後のご案内

技術コース【長期保存食品】の研修が11月20日に開催されます。内容はレトルト食品の加工と殺菌方法についてです。

*申込期間は10/1～10/13となります。



農業機械研修

けん引操作（農耕車限定）

けん引（農耕車限定）免許取得に向けた研修（第1回～5回）を開催しました。本校の運転練習コースで、車庫入れ、S字走行、けん引特有の右折・左折の安全確認の方法など、公道を安全に運転するための基本的な操作について、本校職員が指導しました。

なお、免許取得には、福島運転免許センター（福島市庭坂）において、各自で技能試験を受検する必要があります。



車庫入れ



S字走行



マンツーマンの個別指導



技能試験受験に向けた説明

今後のご案内

第6回（10月1～3日）、第7回（10月8～10日）のけん引操作（農耕車限定）研修が開催されます。

*申込期間は9月1～13日まで、既に大型特殊免許（農耕車限定以上）を取得済みの方が対象となります。



初めての刈払機

刈払機を安全に使用するための操作方法及び刈払機の整備・点検についての研修を開催しました。

講義と実技の2本立てとなっており、講義ではどのような事故が多いのか、なぜ事故が起こってしまうのかといった農作業安全に加え、それを防ぐための考え方や道具、また、整備・点検等について指導しました。

実技では、自ら刈払機の整備・点検を行い、ほ場での草刈り作業を行いました。



刈払機作業に係る安全講習



刈払機の点検・整備



圃場での刈り払い作業

今後のご案内

第1回トラクタ操作技術向上 11月6～7日

第2回トラクタ操作技術向上 11月20～21日

第1回スマート農業 12月18日

第2回スマート農業 12月19日

*申込期間は 10月1～13日となります。

